

第71回全国高P連大会 石川大会に参加して

8月下旬、高P連全国大会(石川大会)に参加しました。有意義で、大変楽しい大会となりました。心に残ったことについて、ほんの少し振り返ってみたいと思います。

① はじめに、開会式です。

会に先立ち、高校生による華やかなバトン演技、合唱部による格調高き澄んだ歌声は圧巻でした。「この日の為に一生懸命練習したんだろうな～」「コロナ禍で他に発表の場はあったのかな～」など、思いを巡らせずにはいられませんでした。

また、開会式でのそれぞれからのお言葉では、異口同音に開催への感謝や、子どもたちの自主性を育てるため学校・家庭・地域の連携がますます重要となることを強調されていました。参加した誰しもがそう思ったことでしょう。

そして、表彰式では、本県から高知東高校前 PTA 会長 都築靖正さん、高知東工業高校前 PTA 会長 山田達哉さん、高知西高校 PTA 様、中村高校西土佐分校 PTA 様、高P連前会長小串和久さんが受賞されました。スクリーンに映し出された名前、校名が何と輝いて見えたことか、改めてこれまでの PTA 活動に感謝いたします。おめでとうございます。



② 次に、参加した第1分科会です。

『新時代の家庭教育～いま伸ばすべき本当に必要な力』のテーマのもと、心に残った言葉とは、次の4つです。

- (1) 個人の成功を俯瞰してデータ化する
- (2) 偏差値の高い学校へ入学しても、将来成功するとはかぎらない
- (3) 学校の教育力を高めるためには、保護者の協力と貢献が必要
- (4) 幼児期は親の言うことを鵜呑みにするが、思春期は他の信頼する誰かの意見を尊重する

③ 最後に、記念講演です。

『やりたいことをやる』のテーマのもと、(株)ファミリーマート顧問 澤田貴司氏の講演でした。高校入学後半年で野球部を辞め、中途半端な高校生活への挫折や後悔から得たことや、また、27歳の時父親を亡くされたことがきっかけで、感謝される人間になることの大切さや、人のために尽くすことが自身に返ってくることなど、実体験による学びの内容でした。やがてこの経験は、仕事をしていく上での、「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」という、確固たる信念となっています。挫折を幾度も経験し、会社内でぶつかりながらも信念を追求していく姿勢には、大変感銘を受けました。

以上、今回初めて全国大会に参加させていただきましたが、感動や子育ての反省など、盛りだくさんの実り多い大会でした。対面でしか味わえない空気感もあり、これからも是非沢山の方に大会へ参加していただきたいと思いました。自身に置き換えると、全くもって耳の痛い話でした。ありがとうございました。



